

**2020年度**

# **編入学生募集要項**

3年次  
編入学用

## 募集人数

- I期 ●現代ビジネス学科／2名  
II期 ●現代ビジネス学科／2名  
III期 ●現代ビジネス学科／1名（※一般入学試験のみ実施）

## 推薦入学試験

### 指定校推薦

### 出願資格

以下の1~3のすべての条件を満たす方

- 1 本学が推薦を依頼した短期大学等を卒業した方、又は2020年3月卒業見込の方  
2 人物良好で、本学での学業を強く希望し、短期大学等の長から推薦を受けた方  
3 本学を専願する方

### 外国人学生の出願資格

出願資格、上記1~3のすべてに該当し、さらに以下の条件を満たす方

日本国籍がなく、出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格（留学等）を有する方

本学の指定する基準の日本語能力を有する方

### 公募制推薦

### 出願資格

以下の1・2のすべての条件を満たす方

- 1 短期大学等を卒業した方、又は2020年3月卒業見込の方  
2 人物良好で学業成績に優れ、短期大学等の長から推薦を受けた方

出願資格、上記1・2のすべてに該当し、さらに以下の条件を満たす方

日本国籍がなく、出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格（就学・留学）を有する方

本学の指定する基準の日本語能力を有する方

## 入学試験日程

### I 期

出願期間	2019年 6月27日(木)～ 7月17日(水)必着
試験日	2019年 7月20日(土)
合格発表日	2019年 7月25日(木)
入学手続期限	2019年 8月 9日(金)

### II 期

出願期間	2019年11月14日(木)～12月 4日(水)必着
試験日	2019年12月 7日(土)
合格発表日	2019年12月12日(木)
入学手続期限	2019年12月26日(木)

## 選考方法・試験時間

面接及び提出書類等を総合して選考

- 集合／9:40 ●諸連絡／9:50～10:00 ●面接／10:00～  
●試験会場：本学

# 一般入学試験

## 出願資格

以下の 1~5 のいずれかの条件に該当する方

1 大学を卒業した方

2 大学に 2 年以上(休学期間は除く)在学し、62 単位以上を修得した方、又は 2020 年 3 月現在において 2 年以上(休学期間は除く)在学し、62 単位以上を修得見込の方

3 短期大学を卒業した方、又は 2020 年 3 月卒業見込の方

4 高等専門学校を卒業した方、又は 2020 年 3 月卒業見込の方

5 専修学校の専門課程(修業年限が 2 年以上で、かつ修了に必要な総授業時間が 1700 時間以上であること)を修了した方、又は 2020 年 3 月修了見込の方

## 外国人学生の出願資格

上記出願資格のいずれかに該当し、さらに次の条件を満たす方

日本国籍がなく、出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格(留学等)を有する方

本学の指定する基準の日本語能力を有する方

## 入学試験日程

### I 期

出願期間	2019年 6月27日(木)～ 7月17日(水)必着
試験日	2019年 7月20日(土)
合格発表日	2019年 7月25日(木)
入学手続期限	2019年 8月 9日(金)

### II 期

出願期間	2019年11月14日(木)～12月 4日(水)必着
試験日	2019年12月 7日(土)
合格発表日	2019年12月12日(木)
入学手続期限	2019年12月26日(木)

### III 期

出願期間	2020年 1月30日(木)～ 2月19日(水)必着
試験日	2020年 2月22日(土)
合格発表日	2020年 2月27日(木)
入学手続期限	2020年 3月16日(月)

## 選考方法・試験時間

書類審査、小論文及び面接

●集合／9:40 ●諸連絡／9:50～10:00 ●小論文／10:00～11:00

●面接／11:10～

●試験会場：本学

## 出願書類

- 1 入学願書**
  - 写真貼付：出願日前3か月以内に撮影したもの。
- 2 受験票**
  - 写真貼付：入学願書貼付と同じもの。
  - 払込受付証明書貼付：所定の振込用紙で35,000円の検定料を振込み後、貼付欄へ糊付してください。
- 3 健康診断書**
  - 本学所定の用紙を用いて出願日前3か月以内に作成したもの。
- 4 卒業証明書または卒業見込証明書**
  - 大学、短期大学等を卒業されている方は「卒業証明書」を提出。
  - 大学、短期大学等を卒業見込の方は「卒業見込証明書」を提出。但し入学式までに「卒業証明書」を提出。
  - 大学2年に在籍し、62単位以上修得見込みの方は「在学証明書」を提出。
  - 大学2年に在籍し、62単位以上修得した方は「在籍期間証明書」を提出。
- 5 成績証明書及び単位取得見込証明書(履修登録書でも可)**
  - 修得済み科目については成績証明書を提出。
  - 現在履修中の科目については履修登録をしていることを証明する書類または単位修得見込証明書を提出。但し入学式までに「成績証明書」を提出。
  - セメスター制の場合は、後期に登録する予定の科目・単位数がわかる書類(様式不問)を提出。
- 6 志望理由書**
  - 本学所定の用紙。
- 7 推薦書**
  - 指定校推薦及び公募制推薦で受験する方のみ(本学所定の用紙)。
- 8 返信用封筒（「入学試験受験票在中」「連絡用」の2通）**
  - 本学所定のものを使用し、住所・氏名を明記のうえ、封筒に記載された金額の切手を貼付してください。

## 外国人学生の出願書類

- 9 日本語能力に関する成績証明書等又は外国人学生推薦書**
  - 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験(日本語)」を受験した方で、「読解・聴解・聴読解」200点以上取得の方、または独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」N2以上合格の方、または日本語検定協会が実施する「実用日本語検定J-TEST」A-Dレベル試験C級(600点以上)の方(各試験の基準に満たない方は、日本語学校等からの別紙「外国人学生推薦書」が必要)となります。  
以下の日本語能力に関する証明書を提出してください。

日本留学試験	成績通知書のコピー、または「日本留学試験成績に関する証明書」の原本
日本語能力試験	「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」の原本
実用日本語検定J-TEST	「成績表」および「認定証」のコピー
- 10 履歴書**
  - 本学所定の用紙を用いて履歴に漏れのないよう記入し、志願者が自筆の署名をしてください。
- 11 経費支弁書**
  - 本学所定の用紙を母国に送り母国の父母など経費支弁者が自筆の署名・捺印をしてください。(日本語訳は不要)
- 12 身元保証書**
  - 保証人は日本国内で働いている日本人または外国人(アルバイト・学生は不可)で署名・捺印が必要です。
- 13 住民票の写し(原本)・在留カードのコピー(表裏)・パスポートのコピー**
  - 住民票の写しは、出願日前より3か月以内に交付されたもので在留資格、在留期間及び在留期間の満了日、在留カードの番号が記載されたもの。

(注)日本の大学、短大を卒業していない中国籍の方は卒業証明書及び成績証明書の公証書が必要です。

## 出願手続

**出願方法** 出願は、本学所定の出願書類送付用封筒に前記の出願書類を一括同封のうえ、出願期間内に郵送してください。

**郵送先** 〒488-8711 愛知県尾張旭市新居町山の田 3255-5  
名古屋産業大学 入試広報室

- 入学検定料**
- 入学検定料35,000円は必ず本学所定の払込用紙にて払い込み、「振替払込受付証明書(受験提出用)」を「入学検定料振替払込受付証明書貼付台紙」にのり付けしてください。
  - 本学に2回以上出願する場合は、1回の入学検定料で当該年度は受験が可能です。その場合は願書の裏面に前回受験時の受験番号を記入してください。
  - 本学園内学校の在校生及び卒業生ならびにその兄弟姉妹と子は、入学検定料が免除されます。その理由を「入学検定料振替払込受付証明書貼付台紙」の所定の欄に記入してください。
  - いったん納付した入学検定料は返還しません。

**受験票** 出願書類受付後、本学で確認し返送します。試験当日は必ず持参してください。

## 受験上の注意

- 試験会場では係員の指示に従ってください。
- 天候の不順等による交通機関の遅延・交通機関の事故など、やむを得ない理由で定刻までに試験会場に到着できない場合は、**0561-55-5101**まで連絡をして指示を受けてください。
- 上記以外の理由で試験開始より15分以上遅刻した場合は、受験できない場合があります。
- 受験票は合格発表まで保管してください。

## 合格発表

- 合格発表日に、本人あてに合否結果の通知書を郵送します。合格発表日は郵便発送日のことです。
- 学内掲示・電話等による合否の問い合わせにはお答えしておりません。
- 合格者は入学式までに「卒業証明書」「成績証明書」を提出してください。(出願時に各見込証明書を提出された方)

入学手続期間内に、下記の入学時納入金を銀行振込してください。入学手続に関する詳細は、合格通知書とあわせて送付する「入学手続について」を参照してください。

### 学納金の内訳

(単位：円)

学納金支払い時期	合 計	入 学 金	授業料	教育充実費	委託徴収金
入学時一次納入(入学手続期限まで)	825,500	300,000			
入学時二次納入(3月中旬)			325,000	175,000	25,500
3年次 秋学期(10月)	515,500		325,000	175,000	15,500
3年次合計	1,341,000	300,000	650,000	350,000	41,000
4年次 春学期(4月)	540,500		325,000	175,000	40,500
4年次 秋学期(10月)	515,500		325,000	175,000	15,500
4年次合計	1,056,000		650,000	350,000	56,000

〈備考〉

- いったん納付した納入金は返還しません。ただし、指定校推薦以外の志願者が入学を辞退した場合、授業料、教育充実費及び委託徴収金については返還します。(2020年3月27日までに申し出ること)
- 委託徴収金は後援会入会金(入学時のみ)5,000円、後援会費(年会費)21,000円、学友会費(年会費)10,000円、同窓会費(入会金・入学時のみ)5,000円、卒業時諸経費積立金(4年次春学期のみ)25,000円です。
- Ⅲ期入試は、一括納入となります。

## 既修得単位の単位認定と編入学後の授業科目の履修について

本学に3年次編入学した方の既修得単位の認定は、本学の卒業必要単位数124単位の半分である62単位を標準として認定します。認定については、次の方法で実施します。

### 1. 既修得単位の認定

(1) 包括認定 50単位

教養教育科目26単位、専門基礎教育科目10単位、専門教育科目6単位、1・2年次のゼミナール8単位、計50単位を修得したものとします。

(2) 弾力的認定 12単位

(1)の包括認定50単位とは別に、短期大学等での学修内容を重視し、総合的かつ弾力的に本学の専門科目の単位として12単位を認定します。なお、専門教育科目として読み替えが困難な場合は、包括認定に準じて認定します。

### 2. 編入学後の授業科目の履修について

本学は卒業要件単位数を124単位以上と定めており、上記の認定された単位数を除いて、編入後の2年間で専門教育科目を中心に62単位以上を修得することになります。

単位認定について	本学の卒業要件単位 124 単位	本学の卒業要件単位数の内訳		編入者の単位認定(62 単位を標準)	編入後の修得単位数
		包括認定	弾力的認定		
教養教育科目	人文科学・社会科学・自然科学 各 2 単位以上	26単位			修得したものとする。
コミュニケーション (言語必修 4 単位以上含む) (言語選択必修 4 単位以上含む)	12 单位以上				
	26 単位				
専門基礎教育科目	10 単位	10単位			修得したものとする。
専門教育科目	卒業要件 共通科目（必修）2 単位 ビジネストレーニングプログラム (6 単位以上選択必修) インターンシップ I ~ III 海外インターンシップ I ~ III 地域ビジネス論 I ~ V キャリア教育科目（必修）4 単位 ※キャリア教育科目は必修単位を除く 6 単位まで認める	共通科目 (必修2単位) キャリア教育科目 (必修4単位)	専門科目 (12単位)	計 6 单位	(1) ビジネストレーニングプログラムから 6 単位以上を選択必修 (2) (1)の要件を含む、専門科目 54 単位以上修得が必要 (3) (2)にはキャリア教育科目 6 单位まで含める事ができる
	72 単位				
ゼミナール	教養ゼミナール I ・ II 1年 各2単位 教養ゼミナール III ・ IV 2年 各2単位 専門ゼミナール I ・ II 3年 各2単位 専門ゼミナール III ・ IV 4年 各2単位	8 单位			専門ゼミナール I ・ II (3 年) 4 单位 専門ゼミナール III ・ IV (4 年) 4 单位 計 8 单位修得が必要
	16 单位				
計	124 单位	50 単位	12 单位		62 单位

## 名古屋産業大学のアドミッションポリシー

### アドミッションポリシー

(入学者選抜の方針)

現代ビジネス学部では、学位授与の方針（DP）及び教育課程編成の方針（CP）に定める教育を受けるための条件として、以下に掲げる知識・技術や目的意識・意欲を備えた人を求めます。

- (1) 高等学校等の教育課程における基礎的な知識や技能をもとに、身近な社会問題について関心を有し、考え方判断ができる人
- (2) ビジネス心理、スポーツビジネス、環境ビジネス、情報ビジネス、地域ビジネスに関する専門知識の修得に意欲がある人
- (3) 現代ビジネスを推進するための社会人基礎力（前に踏み出す力・考え方抜く力・チームで働く力）の向上に積極的に取り組む意欲がある人
- (4) 豊かな人間性と個性に基づいた社会貢献力を主体的に養う態度を身につけている人